

後期**令和3年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内 申し込み書** (令和3年10月～令和4年3月) 9月改訂**裏面あり****この用紙でもお申し込みができます。**
お申込日: **月** **日** お名前: (読み方) お電話番号: () ご住所:

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
10月2日	土	13:30～15:00	七夕と盆	三国 信一	七夕行事と盆行事は一般的には全く別の行事として知られていますが、実際は共通の要素が多く、一連の行事として伝承している地域もあります。身近でありながら謎が多い七夕と盆について、行事を比較しながら考えます。	一般	18	研修室		
10月10日	日	13:30～14:30	トークライブ 「糸魚川市百川の小正月行事」	語り手: 小林 勝彦さん(百川鳥追い賽の神保存会) 聞き手: 三国 信一(当館研究員)	秋季テーマ展示「四季のくらし、小さなまつり—新潟県の年中行事—」の関連イベントです。百川鳥追い賽の神保存会の小林 勝彦さんをお迎えして、糸魚川市百川の小正月行事をテーマに、トークライブを行います。	一般	18	研修室		
10月16日	土	13:30～15:00	日待と月待-石仏が語る信仰-	大楽 和正	日の出を待つ夜明け行事を「日待(ひまち)」といいます。一方、決まった月齢の夜に集まり、月の出を拝む行事を「月待(つきまち)」といいます。干支の「庚申(かのえさる)」の夜に集まる庚申待は、日待の中で最も一般的で、各地で庚申講が組織され、多くの庚申塔の石仏が建てられました。新潟県内の日待・月待に関する石仏の分布を読み解きながら、日の出、月の出を拝する信仰について探ります。	一般	18	研修室		
10月23日	土	13:30～15:00	はじめての「くずし字」 -古文書を読む前に-	本多 園子	近世の古文書によく出てくる「くずし字」の中でも、簡単なものにチャレンジします。古文書を実際に読む前の超入門編です。古文書講座にはじめて参加される方や、親子で古文書にチャレンジしてみたい方むけの講座です。	一般	18	研修室		
10月30日	土	13:30～15:00	女性天皇の歴史	浅井 勝利	近年女性天皇、女系天皇などについての議論が活発化してきています。日本では過去に10代8名の女帝が誕生していますが、そのうちの8割が古代に集中しています。女性が天皇になった背景やその影響などについて考えてみます。	一般	18	研修室		
11月13日 11月20日 11月27日 12月4日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～古文書読解のツボ～(全4回)	田邊 幹	古文書を読めるようになることを目的に、古文書の読み解き方を紹介。4回連続。古文書の初級者を想定。入門講座がない場合は入門～初級者を想定。	一般	18	研修室		
12月11日	土	13:30～15:00	越後地域近世近代窯跡の調査 (1回目)	西田 泰民	令和2年度の講座では幕末から明治にかけて県内に勃興した製陶業をとりあげました。かつて、やきものが焼かれた窯址を実際に踏査した成果について、解説します。	一般	18	研修室		
12月18日 12月25日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～江戸時代を探る～前編・後編	渡部 浩二	江戸時代の越後の人々のくらしがわかるような古文書を教材とし、古文書解読とともに文書の社会的背景を解説します。なお、対象者は古文書中級者とします。	一般	18	研修室		
1月8日 (9/11より延期)	土	13:30～15:00	氷河期の新潟県と人のくらし	橋詰 潤	新潟県には3万数千年を遡る人のくらしの痕跡が残されています。現在とは異なる氷河期の環境の中で残された、旧石器時代から縄文時代のはじまりの遺跡や、石でつくられた道具などについて紹介します。	一般	18	研修室		
1月29日 2月5日	土	13:30～15:00	古文書講座 ～越後文書宝翰集を読み解く～ 前編・後編	前嶋 敏	新潟県立歴史博物館所蔵『越後文書宝翰集』の古文書の内容を読み解いていきます。	一般	18	研修室		

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	御希望の欄に「○」をつけてください	お申込み人数
2月2日	水	13:30~15:00	越後地域近世近代窯跡の調査(2回目)	西田 泰民	※12月11日開催の「越後地域近世近代窯跡の調査」と同じ内容の2回目です。	一般	18	研修室		
2月12日	土	13:30~15:00	考古学と芸術と縄文土器	宮尾 亨	考古学からみた縄文土器と芸術としてみた縄文土器とを比較します。	一般	18	研修室		
2月19日	土	13:30~15:00	体験型講座 「火炎土器の突起をつくる」	宮尾 亨	火焰型土器や王冠型土器を特徴づける突起などのパーツの作り方を出土品の観察内容にもとづいて説明し、紙粘土で実際につくります。	一般	18	研修室		
2月26日	土	13:30~15:00	体験型講座 「縄をつくる・縄文をつくる」	宮尾 亨	縄の撚り方によって変化する縄文土器の文様を実際に体験します。	一般	18	研修室		
3月5日	土	13:30~15:00	映像鑑賞と解説 「佐渡の文弥人形」	大楽 和正	令和元年度に制作した記録映像「佐渡の文弥人形」を鑑賞します。本映像は近松門左衛門作「源氏烏帽子折」の「卒塔婆引きの場(初段後半)」と「烏帽子折尽し(三段)」を字幕テロップ入りで収録しています。出演は、佐渡の真明座です。映像を観る前に、鑑賞のポイントや文弥人形の歴史について解説します。	一般	18	研修室		
3月12日	土	13:30~15:00	村上藩主松平直矩の 鷹・鷹狩と動物	渡部 浩二	17世紀後期の村上藩主松平直矩の日記をもとに、直矩の鷹狩について解説します。また、鷹以外の動物に対する関心や当時の動物生息環境の一端を紹介します。	一般	18	研修室		
3月26日	土	13:30~15:30	体験型講座 「作ってみよう『本格まが玉』」 (春の部)	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっとだけ本格的なまが玉作りを体験します。なお、「親子向け」とし、「保護者と小学生以下の組み合わせ」を原則とします。(要材料費300円)	小中学生・親子	15	研修室		

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「この用紙」「館内の講座参加申込書」「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたします。当館ホームページなどで御確認ください。お申込されていない方はご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1-2247-2 新潟県立歴史博物館 経営企画課

TEL:0258-47-6135 FAX:0258-47-6136 メール:koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

○新型コロナウイルスの影響や申込み状況により、実施の可否や内容、定員や会場についての変更が生じる場合がございます。ご理解をいただけますようお願いいたします。

○お申し込み後の変更につきましては、お申し込みをいただいた皆様へご連絡をいたします。また、ホームページに掲載いたしますので、そちらもご覧ください。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

